

音楽のクリスマスプレゼント 航空自衛隊航空中央音楽隊演奏会



新潟地本は12月18日（土）かきざきドーム（航空自衛隊航空中央音楽隊演奏会イン柿崎音楽祭り実行委員会主催）、19日（日）新潟テルサ（新潟県自衛隊援護協力会主催）において行われた航空自衛隊航空中央音楽隊（音楽隊長 2空佐 前田忠信）演奏会を支援しました。上越市柿崎区においての演奏会は初開催となり、実行委員長佐藤優氏から「上越市で演奏会を毎年開催できるよう成功が不可欠であり、上越市民と自衛隊の架け橋を担えたことを大変嬉しく思う。」、また、新潟県自衛隊援護協力会主催として初となる新潟公演は、同会会長渡邊雅之氏から「近隣の中高生を始め、県内の多くの自衛隊援護協力企業の方々にもお越しいただいたことの感謝を申し上げる。」と準備に尽力された関係者への労いの言葉のとおり感染症対策を万全に行い開催されました。

師走の雪降る寒さの中、訪れた来場者からは「有名な航空自衛隊航空中央音楽隊の演奏が聴けるのを楽しみにしていました。」「コロナが心配だったが開催されてよかった。」、音楽隊員からも「音楽の一足早いクリスマスプレゼントを楽しんで頂きたい。」等の話も聞こえ、開演前から期待の高さが伺えました。柿崎公演のリハーサルには柿崎中学校、新潟公演のリハーサルでは五泉高校の生徒と保護者に対して特別公開も行われました。



公演第1部は「英国の響き」と題された「スピットファイア」をオープニングに4曲、第2部は「クリスマスファンタジー」と題された人気映画「アナと雪の女王メドレー」含む5曲、アンコール3曲の全12曲が演奏されました。来場者は演奏に合わせて手拍子を行いながら楽しみ、終了後の会場は万雷の拍手に包まれました。

来場者からは「自衛隊最高峰の素晴らしい演奏が聴けて感動した。」「来る時は寒かったけど早めのクリスマス気分も楽しめて心が温まる演奏でした。」等の声も聞くことができ大盛況で公演は幕を閉じました。

新潟地本は今後も各部との連携を取り音楽隊の演奏会を最大限に活用した広報を行い地域の自衛隊への親しみ、理解を深めていきます。

